

ステークホルダーコミュニケーション

基本的な考え方



パーパス(私たちの存在意義)の実現・発揮
以下のコミュニケーションを実践しています。

私たちのステークホルダー

JA・JF・JForestなどの会員
(計3,181団体)

- JA、JF、JForestや各系統組織の連合会など

会員の組合員
(農林水産業に従事するみなさま)
地域社会のみなさま

- 農林水産業従事者
- 地域住民・企業・団体など

農林水産関連企業を
はじめとする
預貯金や貸出のお取引先

- 農林水産関連企業
- 一般企業など

投資家のみなさま

- 国内外の機関投資家
- 米ドル建農林債(グリーンボンド)投資家など

ビジネスパートナー

- 金融機関
- 市場参加者
- 業務委託先など

行政

- 主務省
- 地方公共団体など

農林中金グループ職員

- グループ職員

私たちが提供

- 最終的な運用の担い手としての安定還元
- JAバンク・JFマリンバンクの全国機関とラ・統一的な事務手続等の企画・提供
- 当金庫の金融サービス・知見・国内外の解決・成長の支援

- 会員と連携した施策を通じた事業活動の
- JAバンク・JFマリンバンクの一員として課題の解決・ライフプランのサポート
- 地域課題の解決と地域活性化への貢献

- 当金庫の金融サービス・知見・国内外の解決・成長の支援
- JA・JF・JForestグループの基盤を活かし

- 資産運用ビジネスを通じた高品質(高クレ)
- 当金庫の気候変動への取組みにかかる

- 当金庫の金融サービス・知見・国内外の解決・成長の支援

- 食や農林水産業の成長産業化および地域
- 当金庫の金融サービス・知見・国内JForestグループの基盤を活かした協業の

- 仕事のやりがい・達成感を得られる職場
- 職員のキャリア開発・成長機会の提供
- ライフスタイルに応じた多様な働き方の

に向けて、ステークホルダーのみなさまへ価値を提供し続けていくために、

する主な価値

主なコミュニケーションの方法

しての各種施策・システムインフ
ネットワーク等を通じた課題の

- 日常的に行う直接的な対話
- 意思決定機関・会議等での協議・意見交換（総代会、経営管理委員会、JAバンク中央本部委員会、JFマリンバンク中央本部委員会など）
- 情報提供や会員間の交流等を企図したイベントの開催

支援・所得向上の後押し
の金融サービス提供等を通じた

- 会員を通じたやりとり
- 都度の直接的な対話
- 商談会・セミナー等のイベント開催
- ホームページ等での情報発信

ットワーク等を通じた課題の解
た協業の実現

- 営業活動を通じた直接的な対話
- 取引先の企業価値向上に向けたエンゲージメント活動
- 商談会・セミナー等のイベント開催
- ホームページ等での情報発信

ジット)な投資機会の提供
ファイナンス機会の提供

- 海外投資家との面談や説明会の実施
- ホームページ等での情報発信

ットワーク等を通じた課題の解

- 事業連携時の直接的な対話
- 業界団体を通じたやりとり
- ホームページ等での情報発信

活性化等への貢献
外のネットワーク、そしてJA・JF・
実現

- 渉外活動を通じた直接的な対話
- ホームページ等での情報発信

環境の提供
実現

- 上司・部下の1on1ミーティング、役員・職員間の面談
- 各種研修・セミナー・説明会等の開催
- 組織能力調査の実施と結果のフィードバック
- 社内広報施策を通じた情報発信